

# アーサー王 ワークショップ

## King Arthur: Workshop

テニスン「シャロットの女」を読んで、体感して、作ってみよう  
Reading and Creating Alfred Tennyson, "The Lady of Shalott"



塔から聞こえる不思議な歌声、  
外界を見てはいけないという呪い、  
鏡をみつめ機を織り続ける女、  
ランスロットの姿におもわず振り返った女の運命は…

美しくも、摩訶不思議、「なぜ？」がたくさん詰まった171行の詩  
この夏、みなさんも「シャロットの女」を体験してみませんか？

### ～詳細～

日時：2010年9月6日～2010年9月8日（3日間）

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 大会議室

定員：20名（＋見学者 大歓迎）

講師：アンドリュー・リンチ/小関章ラファエル/瀬戸口 郁

本ワークショップは五感を十分に用いて文学作品に向かい合い、表現する試みです。  
豪華な講師陣をお迎えして、作品の分析から創作へ展開する、芳醇なこの機会をお見逃しなく!!

参加希望者多数の場合は人数を制限させていただくこともあります。見学は自由です。

申込方法・プログラム予定・講師の紹介は次ページをご覧ください。



## ワークショップ・プログラム 詳細はWebに8月公開します

9月6日: 10:00~16:30

作品の朗読、言葉が描く風景を想像し、自分の解釈を語り、グループで発表。  
アーサー王専門家アンドリュー・リンチ教授による作品と絵画の分析  
※テキストを事前に読んでおくことをお勧めします

9月7日: 10:30~16:30 創作方法のワークショップ

物語の作り方(ストーリーアーキテクト: 小関章ラファエル氏)  
身体と劇空間の作り方(文学座俳優・脚本家: 瀬戸口郁氏)  
※動きやすい服装でどうぞ

9月8日: 10:30~17:30 創作準備と発表

前日のレッスンをふまえて、グループでひとつの「シャロットの女」を演じます。  
テキスト:『対訳テニスン詩集—イギリス詩人選(5)』(西前美巳編 岩波文庫)

### 講師紹介



**アンドリュー・リンチ (Andrew Lynch)**: Professor in English and Cultural Studies at The University of Western Australia, Director of the UWA Centre for Medieval and Early Modern Studies. 中世英文学を専門とし、トマス・マロリーの『アーサーの死』および19世紀と20世紀におけるアーサー王物語、特にAlfred Tennysonにも詳しい。主要著作: Malory's Book of Arms (Cambridge: D.S. Brewer, 1997), The Cambridge Companion to the Arthurian Legend(2009), The Blackwell Companion to Arthurian Literature, and Arthurian Literature (2010)がある。

**小関章ラファエル: KOSEKI Aquila Raphael**: ストーリーアーキテクト

ユング深層心理学の専門研究をベースにして、ストーリー創作を行っている。神学学士(上智大学)コミュニティ福祉学修士(立教大学)デジタルコンテンツ・マネジメント修士(デジタルハリウッド大学)同学産学官連携センターフェロー。『オペラ座の怪人』日本公演チーフ職。『ガンダム・ダブルオー』設定考証・神学考証。『劇場版エウレカセブーン ポケットが虹でいっぱい』神話協力(英語版: Myth Supervisor)



**瀬戸口 郁(せとぐち かおる)**: 俳優・脚本家/文学座所属 慶應義塾大学文学部卒業。平成四年、文学座本公演「御意にまかす」で初舞台を踏む。以後、「寒花」(第五回読売演劇大賞優秀作品賞受賞)、「モンテ・クリスト伯」、「ザ・クライシス」(脚本構成および出演)「女の一生」など文学座の舞台を中心に活動。脚本作品に五大路子詠み芝居「エゲリア」「走る女」、「ある剣劇女優の物語」など。また2008年の脚本「てけれっつのは」(劇団文化座)が平成20年度文化庁芸術祭賞演劇部門大賞を受賞。同作品は今年5月、文化庁国際芸術交流支援事業として、イスタンブールをはじめとするトルコ国内三都市での海外公演も行われた。東京藝術大学、都立総合芸術高校非常勤講師。

### ・主催とお申込方法・

主催: 慶應義塾大学教養研究センター

WEB: <http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/gp/>

TEL: 045-566-1151

申込み先: 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、

下記メールアドレスまでお送りください。

yuri-fuwa2005@a8.keio.jp 不破有理 宛